

令和4年度 第1回校友会改革会議議事録

- 1 日 時 令和4年7月21日(木) 午後5時00分～午後5時58分
- 2 場 所 日本大学桜門会館3階会議室
- 3 出席者 桑折 洋一, 進藤 博司, 老月 勝弘, 平岩 幸男, 中谷 昌弘, 上村 英生, 阿部 秀人, 田中 由雄, 井上 由大, 外山 勉, 上田 浩司, 城座 隆夫, 阿部 和時, 内倉 和雄, 北村 周之, 深田 大介, 大内 倫彦, 田邊 大輔, 小幡 純 (オブザーバー)
- 4 オンライン出席者 丸茂 裕樹, 山本 裕二, 松島 哲也, 遠山 信幸
- 5 欠席者 勝間 和代, 門倉 正憲, 田中 雄二, 伊藤 寿英, 鬼塚 春光, 武居 弘市, 隈部 時雄, 阿部 正也, 飯村 浩治, 中川 圭造 (オブザーバー)
- 6 議 事

会に先立ち、小幡会長代理・代行から開会の挨拶があった。

続いて、小幡会長代理・代行から、校友会改革会議の座長として門倉 正憲 神奈川県支部長、副座長として平岩 幸男 東京都第六支部長及び外山 勉 理工学部校友会会長を指名する旨説明があった。なお、本日は、門倉座長が都合により欠席のため、平岩副座長に急遽座長を依頼する旨説明があった。

報 告

① 校友会改革会議のメンバーについて

中村事務長兼庶務課長 資料1により説明

校友会改革会議のメンバーは、理事長推薦の勝間 和代 氏とオブザーバーの小幡会長代理・代行及び中川組織委員長を含めた合計33名の構成になる旨説明があった。続いて、メンバーの紹介が行われ、各自から一言ずつ挨拶があった。

了 承

② 校友会改革会議の検討議題及びスケジュールについて

中村事務長兼庶務課長 資料2により説明

校友会改革会議の議題としては、校友会会則、役員選出方法及び会費等の検証と見直しを主な議題とする旨説明があった。また、支部・部会等に対しては文書にて、全国の校友に対しては、校友会のホームページにて改革に対するご意見・ご要望等を募り、それらを検討課題としていく旨併せて説明があった。

校友会改革会議のスケジュールについては、文書及びホームページにより募集した改革に対するご意見等の回答期日を8月下旬頃に設定したため、それらを取り纏め次第、改革会議を順次開催していく旨説明があった。また、最短で進行した場合のスケジュールとしては、11月までに改革内容を取り纏め、12月を目途に臨時役員総会

の開催を目指していく旨併せて説明があった。

城座委員から、今後の改革会議の開始及び終了時間について確認があった。

平岩座長から、本日の改革会議は遅くとも18時には終了する予定であるとの説明があった。

上田委員から、改革会議のメンバー選出方法について改めて確認があった。

平岩座長から、先般開催された役員総会において、小幡会長代理・代行から改革会議の立ち上げと改革会議に参加を希望する者については、自薦他薦は問わず申し出て欲しい旨説明があったことにより今回の選出に至っている旨説明があった。

上田委員から、改革会議の委員候補者推薦書については、全ての支部・部会に送付したのか確認があった。また、本来であれば生産工学部校友会会長の河原副会長が選出されて然るべきだと考えていたが、どのような基準で選出に至ったのか併せて確認があった。

平岩座長から、事務局からも説明があったとおり、現執行部である校友会常任会のメンバーは除外することになっており、生産工学部校友会会長の河原副会長は、校友会常任会のメンバーであるため除外対象者であった旨説明があった。

中村事務長兼庶務課長から、この度に選出については、全ての副会長に対して改革会議の委員候補者推薦依頼書を発送し、推薦された候補者の中から校友会常任会のメンバーを除外した上で、小幡会長代理・代行及び中川組織委員長により選出された旨の説明があった。なお、学部別部会については、準会員会費の検討の必要性から全部会をメンバーとした旨併せて説明があった。

上田委員から、改革会議のメンバーが適正な方法で選出されていることが明らかであれば良い旨意見があった。

了 承

③ 校友会役員に送付する質問書及び意見募集フォームについて

中村事務長兼庶務課長 資料3により説明

校友会の支部・部会等に送付する改革に対する質問書並びに校友会のホームページ上に掲載予定である全国の校友向け「日本大学校友会改革に関する意見募集フォーム」について説明があり、それぞれの回答方法について詳細な説明が補足された。

上村委員から、まず校友会常任会の構成員が誰なのか把握していないこと、また誰が常任会の構成員に推薦しているのかが不明であることについて確認があった。併せて、一連の事件についての説明を文書や送付書類等に改めて記載すべきであるとの意見があった。

小幡会長代理・代行から、田中前会長及び井ノ口・藪本両副会長が犯した事件の内容を改めて明記した形で意見を募集する必要があるれば、その様に対応する旨回答があった。

上村委員から、法学部校友会では会長の交代があり、これは、廣田前法学部校友会長が、一連の事件発生時において田中前理事長の解任に反対したことに起因するものであ

るが、先日の役員総会資料では、廣田前法学部校友会会長が会長指名の副会長として新たに選任され、校友会常任会の構成員に復帰していることが大きな問題である旨意見があった。

小幡会長代理・代行から、廣田前法学部校友会会長については、校友会の企画委員長でもあり、全国校友大会の開催に向けて継続してご尽力いただいきたく、会長指名の副会長として選任した旨回答があった。本件について疑義があるようであれば、法学部校友会から文書等で抗議が届いて然るべきである旨意見があった。

上村委員から、この場で揉めるつもりは全くないが、廣田前法学部校友会会長を企画委員長として継続して校友会常任会の構成員とするのであれば、事前に法学部校友会に対してその旨説明があつて然るべきではないかとの意見があった。

平岩座長から、上村委員からの意見は、貴重な意見としてしっかりと受け止める旨説明があった。

大内委員から、質問書の体裁が漠然とした内容であるため、支部・部会等によっては受け取り方が異なる懸念がある。また、質問書に記載された「準会員会費・正会員会費」及び「補助費・特別補助費」の現状がどういったものなのか、会則等には記載されていないため資料として添付する必要があるのではないかとの意見があった。

中村事務長兼庶務課長から、今回の質問書は敢えて漠然とした内容に留めており、詳細な質問になってしまうと逆に回答し辛くなってしまう場合もあるため、質問書はこのまま送付させていただき、広く意見を求めたい旨説明があった。また、会費や補助費等の現状については、現段階で詳細な資料を添付するのではなく、今後意見が集まってきた際に改めて提示するかどうかを本改革会議で検討していきたい旨回答があった。なお、上村委員から指摘のあった一連の事件についての記載については、本改革会議からの提言の中に盛り込むことで対応していきたい旨回答があった。

山本委員から、校友会に対する改革の必要性を明確にする必要がある旨意見があった。一連の事件により、校友会の信頼が失墜しており、今後、校友会の信頼回復のために何を行うべきであるかを全国の校友から意見を聴取するとともに、改革会議はそのために設置された旨を改めて公表すべきである旨意見があった。

平岩座長から、山本委員の意見には同感であり、校友会の全てを変えるのではなく、精査することが重要であり、それが本改革会議の役目である旨意見があった。

外山委員から、校友会のホームページでは会則等を閲覧することができるのか確認があった。

中村事務長兼庶務課長から、校友会のホームページには会則が掲載されており、先般開催された役員総会で改正された最新版の会則は、近日中に更新される予定である。また、最新版の冊子体についても近日中に郵送する旨併せて報告があった。

城座委員から、「会長代理・代行」という名称とその意味について確認があり、現状から鑑みても、「会長代行」が正しい名称に当たるのではないかとの意見があった。併せて、本改革会議の議事録については、作成・提出していただけるのか確認があった。

平岩座長から、会長代理・代行の名称については、今後検討を行っていく旨説明があった。また、議事録については事務局により作成する旨併せて説明があった。

米崎次長から、議事録及び改革会議の名簿については校友会ホームページなどに公開して良いか確認があり、これを了承した。

中村事務長兼庶務課長から、議事録については発言録形式ではなく、決定内容等を取り纏めた通常形式での作成となる旨説明があり、これを了承した。

了 承

平岩座長 閉会を宣す。

以 上

議事録署名者 _____